

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 3月 1日

事業所名 Berry Language Academy

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		少人数のコマ制の実施	
	2 職員の配置数は適切である	5		現状は適切である	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	施設内にスロープが設置されており、階段には手すりを設置している	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	研修を行っている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		積極的に行っている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		HPで公開をしている	定期的に会議を行い、指導員間で改善点を共有し、保護者に文章等でも共有するようにしていく
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		自己評価を行っている	
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		毎月1回研修を行っている	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		毎月1回、カンファレンスを行っている	今後も、送迎時のフィードバックを行い、計画書に取り入れるようにしていく
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		資料等、完備されている	専門的な資料を増やしていく
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		毎月1回、カンファレンスを行い、指導員間で話し合っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		ニーズに合わせたプログラムを組んでいる	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			イベントを工夫し、実施していく
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		毎月1回カンファレンスを行なっている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		流れや役割を指導員間で話し合うようにしている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎日、振り返りを行い、次の支援に繋げていけるようにしていく	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		日報にその日の個々の様子を記録している	全指導員が作成する事が出来るように研修を行っていく
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		送迎時に保護者からのモニタリングを行ったり、面談を行っている		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5		様々な角度からの支援を意識している		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		全指導員が責任を持ち参画出来るようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		保護者が仲介となり連絡等を行っている	送迎が無い為、学校との情報共有が難しい場面が多いので、円滑に情報共有出来るような方法を模索・施行するようしていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3		現在、医療的ケアが必要な利用者は居ないが、今後そのようなケースがある可能性を考え、体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	保護者から話を伺っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	常に情報共有が出来るように心掛けている	まだ、福祉サービス事業所等へ移行される利用者がいないので、今後のケースに備えていく
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	その都度、連絡し助言を求めるようにしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		機会を設ける為の時間を確保出来ていないので、今後、視野に入れて、今までよりも機会を増やしていけるようしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		機会を設ける為の時間を確保出来ていないので、今後、視野に入れて、今までよりも機会を増やしていけるようしていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時にフィードバックを行い共有する時間を設けている	保護者との密な情報共有が出来るように心掛けていく
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5			更に、指導員間でも密に共有を行い、支援を行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約の際、規約等の説明を丁寧に行っている	分かりやすい説明が出来るように、内容をしっかりと把握し、説明が出来るようしていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		都度、時間を作り話が出来る体制を整えている	更に深く話を聞く事が出来るように、保護者と面談をする時間の確保をしていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		機会を設ける為の時間を確保出来ていないので、今後、視野に入れて、今までよりも機会を増やしていけるようしていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			迅速に対応が出来るように指導員間での情報共有をきちんと行っていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		事務所の公式LINEを作成し、配信している	イベントカレンダーの配信も行っているため、様々な情報も共有していく
	35	個人情報に十分注意している	5		鍵付きの書類棚に保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		機会を設ける為の時間を確保出来ていないので、今後、視野に入れて、今までよりも機会を増やしていけるようしていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		常に、見る事の出来る位置にマニュアルを保管しており、避難訓練や研修も行っている	年に1回見直しをしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	4	2か月に1回様々な事案での避難訓練をしている	全指導員がマニュアルをきちんと把握し、素早い判断・行動が出来るようにしていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		年に1回研修を実施、年に2回委員会を開いている	今後も事案については、その都度話し合うようにしていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		きちんと保護者に説明をした上で記載している	マニュアルを作成しているので、今後も研修を行ない指導員間での認識を深めていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		緊急連絡票に記入していただき、指導員間での共有をしている	食事提供の際は、細心の注意を払い、確認した上で提供するようにしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		起こった場合に細かく記入・作成し、全指導員で共有している	